

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

提出区分	実績	整理番号	5	課題区分	C	令和6年5月7日
横断的な課題	北信州の自然を活かした観光の振興					
地域重点政策	北信州の自然を活かした、収益性の高い農業・国際競争力の高い観光業の振興				北信地域振興局	
実施機関	北信地域振興局			担当課	所属	商工観光課(北信建設事務所)
事業名	広域観光と通年型観光の地域づくり				電話	0269-23-0219
					E-mail	hokuchi-shokan@pref.nagano.lg.jp
事業の概要等	目的 (目指す姿)	外国人旅行者などの長期滞在ニーズに対応するため、地域連携によるPR強化を図るとともに、夏のアウトドアなどの観光資源の魅力を向上させることで、年間を通じて、各地から人々が訪れる観光地域づくりを推進する。				
	現状と課題	<p>・信越自然郷は県内ではサイクルツーリズムの先進地域となっている。また、県域を越えたサイクルツーリズム研究会が立ち上がるなど、信越自然郷の枠組みを超えた広域連携も始まっている。さらに北陸新幹線の敦賀延伸(2024年3月)を見据えた関西方面への誘客の機運が長野・新潟両県で高まっている。</p> <p>・信越自然郷のジャパンエコトラック認定サイクリングコースは、コース案内が十分でなく快適な環境となっていない。千曲川北信5市町かわまちづくり推進協議会(長野市、須坂市、中野市、飯山市、小布施町)では、まちと河川空間を結ぶサイクリングロードのルートを検討しており、計画と整合を図りながら道路整備を行う必要がある。</p> <p>・長野県の最北端に位置する栄村は隣接する新潟県津南町と協働して「秋山郷」の活性化に取り組んでいるが、地元事業者は2011年の震災とコロナ禍で疲弊している状況であった。昨年度、首都圏で秋山郷に関するPRイベントを実施したところ、参加者から高評価であり、引き続き新潟県と協働して秋山郷の振興策に取り組む必要がある。</p>				
	内容 (変更後の内容)	<p>【広域サイクリング推進事業】 ○信越自然郷を中心とした近隣エリアとサイクリングによる広域観光の推進に取り組むことで、グリーンシーズンの観光誘客を図る。 【概要】 ・長野・北信サイクルツーリズム推進会議等の開催。 ・CYCLE MODE(大阪:令和6年3月2日、3日)へ信越自然郷とブースを共同出展し、新潟県と連携して当エリアの情報発信を実施。</p> <p>【新潟県とのコラボによる「秋山郷」情報発信事業】 ○首都圏で秋山郷に関する情報発信を新潟県と協働で行い、観光客及び交流人口の増加を図る。 【概要】 ・9月3日 銀座NAGANO:秋山郷に関するセミナー開催 ・9月8日～10日 表参道・新潟館ネスパス:イベント開催 ・2月3日 銀座NAGANO:秋山郷に関するセミナー開催</p> <p>【サイクルツーリズムモデルコース整備事業】 ○先進地事例の視察及びサイクリングルート環境整備により、「Japan Alps Cycling Road」の利用促進を図る。 【概要】 ・ナショナルサイクルルート「しまなみ海道サイクリングロード」の走行環境及び情報発信の取組状況の先進地視察(令和6年3月6日～令和6年3月8日) ・「道の駅ふるさと豊田」駐車場(県管理部分)に「長野県一周サイクリングJapan Alps Cycling Road」案内看板(主に北信地域のルート図)1基の設置</p>				
事業期間	令和5年4月		～	令和6年3月		
事業	(単位:円)					
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考		
広域サイクリング推進事業	・近隣エリアと協働してサイクリングに関する会議や研修会、イベントへの出展を行い、グリーンシーズンの観光誘客を図る。	550,267	旅費361,611(信州中野駅～大阪・万博記念公園)、公用車燃料・消耗品費18,402、宅配料2,600、使用料167,654(ブース出展料、会場使用)			

業 費 等	新潟県とのコラボによる「秋山郷」情報発信事業	・栄村と新潟県津南町にまたがる秋山郷について、新潟県とのコラボで首都圏において情報発信を行うことで、観光客及び交流人口の増加を図る。	621,040	講師謝金143,100、講師旅費139,081、職員旅費201,310、公用車燃料、消耗品費77,666、郵送代等29,210、会場使用料30,673	
	サイクルツーリズムモデルコース整備事業	・案内看板(北信地域のサイクリングルート図)作成・設置1基 ・先進地視察	443,260	作成・設置費188,000円 旅費223,260円(～尾道市4名旅費+宿泊費 54,480、57,140、55,820、55,820) レンタサイクル代32,000円(＠8,000*4)	
	合 計		1,614,567		
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況
	サイクルツーリズム推進研修会等の参加者アンケート満足度「良い」以上の割合		80%	86%	○ 達成
	CYCLE MODE大阪ブース来場者数(パンフレット配布数)(R4実績:500)		500名	455名	
	銀座NAGANOセミナー参加者アンケート満足度「満足」以上の割合(R4実績:98%)		90%	100%	
	国道292号(合庁前)の自転車交通量		30台/日	13台/日	● 一部達成
	走行環境や情報発信の改善点等の洗い出し		5件	6件	○ 未達成

<p>事業実績・成果</p>	<p><b>【広域サイクリング推進事業】</b>  ○第一回長野・北信サイクルツーリズム推進会議(9月25日開催)では北信地域での自転車の試走、JR飯山線のサイクルトレイン体験、Japan Alps Cycling Project副代表の小口良平氏による講演会、サイクルツーリズムについての意見交換会を実施。当日アンケートにて満足度「良い」以上86%。  ○第二回長野・北信サイクルツーリズム推進会議(2月22日開催)では長野市・飯山市・長野県観光誘客課の計3団体による令和5年度事業の発表と、「ながでんサイクルトレインを活用したサイクルツーリズムの推進について」の意見交換会を実施。長野・北信地域で広域的にサイクルツーリズムに関する意識の共有が図られた。  ○関西方面でサイクリストが多く集まるイベントのサイクルモード大阪(3月2日～3日、大阪府吹田市万博記念公園)に信越自然郷及び長野地域振興局と共同出展し、北陸新幹線敦賀延伸を好機として関西方面へのPRを行い、当地域の認知度向上が図られた。</p> <p><b>【新潟県とのコラボによる「秋山郷」情報発信事業】</b>  ○銀座NAGANOイベント①(長野県主催、9月3日)移住者の目線から見た秋山郷の食等の魅力について情報発信。参加者数17名、当日アンケートにて大変満足14名(82%)、概ね満足3名(18%)。  ○表参道・新潟館ネスパスイベント(新潟県主催、9月8日～10日)旅行案内、奥信越道の駅売れ筋商品の物販、地酒飲み比べ、奥信越の地酒うんちく講座、秋山郷民俗学講座による情報発信。アンケート(回答112名)にて、「イベントを通じた奥信越地域への来訪意向」1年以内に訪れてみたい64名(57.1%)。  ○銀座NAGANOイベント②(長野県主催、2月3日)研究者と現地案内人、マガギによる文化、山の暮らし、観光の魅力を発信。参加者数24名、当日アンケートにて大変満足17名(71%)、概ね満足7名(29%)。  ○以上3回のイベントを通じて、様々な側面からの秋山郷の情報を発信することで、認知度及び魅力向上が図られた。</p> <p><b>【サイクルツーリズムモデルコース整備事業】</b>  ○道の駅「ふるさと豊田」にJASR案内看板N=1基設置  ○しまなみ海道の先進地視察を行い、走行環境、情報発信等について、6件の改善の参考にすべき点を確認</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車と歩行者の分離</li> <li>・歩車道境界ブロックと舗装の段差解消</li> <li>・走行区間確保のための路肩の拡幅</li> <li>・他の公共交通機関との連携によるルートの設定</li> <li>・主要ポイントに大型案内看板の設置</li> <li>・民間企業との連携によるPR活動</li> </ul> <p>○自転車交通量調査の実施(別途費)</p>
<p>今後の方向性</p>	<p><b>【広域サイクリング推進事業】</b>  ○長野地域振興局と協働して地域でサイクルツーリズムを推進する団体の研修会や意見交換の場を設け、広域でサイクルツーリズムの取組を推進していく。  ○北陸新幹線の敦賀延伸により利便性の向上した関西方面からの誘客をより促進するため、引き続きCYCLE MODE大阪に出展し、多くの来場者に北信地域の観光PRを行う。  ○いいやま駅まつりに出展し、北信地域のサイクリングコースを映像で紹介するなどサイクリングが盛んな地域であることをPRするとともに、飯山線沿線の観光情報やこの地域ならではの食の魅力のPRを行う。</p> <p><b>【新潟県とのコラボによる「秋山郷」情報発信事業】</b>  ○秋山郷に残る山村文化等、全国的にも希少な魅力を含めた情報の発信を継続することで、秋山郷の新たなファン獲得を目指す。  ○将来的には栄村が主体となって事業を行えるよう支援していく。</p> <p><b>【サイクルツーリズムモデルコース整備事業】</b>  ○道路整備の際に、歩車道境界ブロックの段差解消や堆雪帯を活用した走行区間の確保に努めた設計等を検討し、走行空間の整備を推進する。また、市町村などと連携して、主要なポイントに分かりやすい案内看板の設置を検討する。  ○更に地域振興局商工観光課などと連携し「CYCLE MODE東京及び大阪」へ参加し、北陸新幹線延伸により増加が予想される首都圏、関西圏のサイクリストに対してPR活動を行うとともに、課題や要望等についてのアンケート調査を実施し、今後のPR活動、走行環境の整備を促進することにより、利用者の増、地域振興につなげる。</p>